

特別展

ようしゅうはっかい  
揚州八怪

2020年8月29日(土) - 10月18日(日)

「揚州八怪」と聞いてすぐにピンときた方は、かなりの美術通です。日本ではあまり知られていませんが、揚州八怪の作品はとても親しみやすい中国の芸術です。乾隆皇帝が最盛期を実現した清時代・18世紀、塩業で繁栄した長江下流の揚州という都市には多くの芸術家たちが往来し、親交し、また競うようにしてその才能を発揮していました。文雅を愛する官吏や豪商の支援もあり、揚州はまさに芸術の都として華やきます。後世の批評家は、この街で活躍した数多くの芸術家のうち、書画で名を馳せた者を8人挙げて「揚州八怪」と呼びました。誰をエントリーするかは諸説あります。彼らの芸術はなぜ「怪」なのか？本展は国内過去最大の規模でその全容に迫ります。



鄭燮《墨竹図》  
清時代・乾隆29年(1764) 上海博物館蔵

てんぴらうらいさん  
天平礼賛 (仮称)

2020年10月27日(火) - 12月13日(日)

近年、我々の価値観や研究の土台を揺さぶるような言説がさかんにおこなわれています。万葉集が古典として扱われるのが近代以降のことと説くのも、その一例です。確かに美術の歴史も同様で、日本の美術史が体系化され、その中で奈良時代の美術を古典と位置付けるのは明治以降です。ところが、奈良時代の美術すなわち天平美術は時代を通じて常に立ち返り見直され続けてきた存在でした。本展では天平美術が絶えず振り返られ、そして新たな創造の源泉となってきた歴史を様々な分野の作品を通じてご紹介いたします。天平美術の本質に迫ることで、正倉院宝物や古寺の仏像が今なお我々を惹きつけてやまない理由が明らかとなるでしょう。ご期待ください。



《紺紙銀字 華嚴経断簡》(部分)  
奈良時代・8世紀 本館蔵(田万コレクション)

所蔵作品の貸出

他館への貸出を予定している本館所蔵作品です。展示期間などの詳細は各施設へお問い合わせください。

伝 仇英《九成宮図巻》(阿部コレクション)ほか 計2件 ロサンゼルス・カウンティ美術館(アメリカ) 2020年2月9日(日) - 5月17日(日) Where the Truth Lies : The Art of Qiu Ying	
趙之謙《四時果实図》(阿部コレクション)ほか 計3件 大和文華館(奈良市) 2020年2月21日(金) - 4月5日(日) 水のめぐみ 大地のみのりー野菜、果物、魚介の美術ー	
森徹山《寒月狸図》 大阪歴史博物館(中央区) 2020年2月26日(水) - 4月5日(日) 猿描き狙山三兄弟 - 鶏の若冲、カエルの奉時も ※熊本県立美術館にも巡回	
上村松園《晩秋》(住友コレクション) 東京富士美術館(八王子市) 2020年2月29日(土) - 4月12日(日) 上村松園・松篁・淳之三代展	
重文《小西家伝来・尾形光琳関係資料 衣裳図案帳》 東京国立博物館(台東区) 2020年4月14日(火) - 6月7日(日) きもの KIMONO	

◆表紙作品紹介

《石造 如来坐像》

南北朝時代西魏・6世紀 本館蔵(山口コレクション)

満面の笑みを浮かべる如来坐像。口を開き舌を出しているようです。頭部が大きく厚ぼったい衣の表現など、なんとも素朴なすがたですが、独特な魅力がある1500年前の仏像です。

大阪市立美術館 天王寺公園内  
Osaka City Museum of Fine Arts

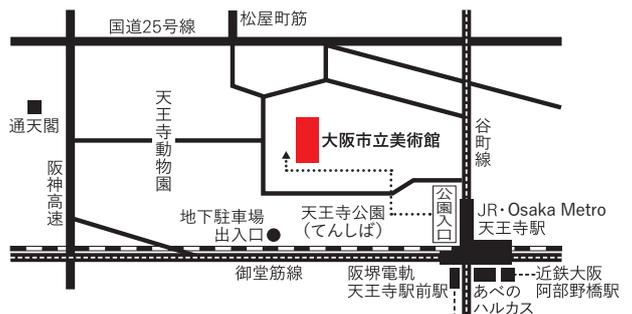
〒543-0063 大阪市天王寺区茶臼山町1-82

tel. 06-6771-4874 fax. 06-6771-4856

<https://www.osaka-art-museum.jp>

開館時間=9:30~17:00(入館は16:30まで)

休館日=月曜日(ただし月曜日が祝日の場合は翌平日)



交通案内:Osaka Metro 御堂筋線・谷町線、JR「天王寺」、近鉄南大阪線「大阪阿部野橋」、阪堺電軌上町線「天王寺駅前」下車、または大阪シティバス「あべの橋」下車、北西へ約400m